

期末評価	
○ 成果と▽ 課題	● ▼ 次年度への方策等
<p>○各教科で、電子黒板やデジタル教科書、デジタルドリルを積極的に活用している。</p> <p>○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを行っている。</p> <p>▽授業の分かりやすさについて、年間を通して分析を継続して行った。</p>	<p>●個別最適化された学びを行うために、今年度同様デジタルドリルのさらなる活用方法について検討する会を設けていく。</p> <p>▼授業の分かりやすさについては、学校評価アンケートの結果を基に改善を行う。</p>

期末評価	
○ 成果と▽ 課題	● ▼ 次年度への方策等
<p>【国語】</p> <p>○漢字の小テストは、定期的に行っている。</p> <p>○単元に合わせて、デジタルドリルを取り入れた授業を行っている。</p> <p>▽読書活動の場がまだ少ない。</p>	<p>●漢字の小テストは、漢字の読み書きに自信がもてるように、今後も継続して行う。</p> <p>●漢字や文法、言葉の問題は、デジタルドリルを活用していく。</p> <p>▼学校図書館スタッフに協力してもらいながら、授業での読書活動を増やしていく。</p>
<p>【数学】</p> <p>○デジタルドリルに取り組む時間を授業時間内外で確保し、利用時間の向上に努めた。</p> <p>○電子黒板やデジタル教科書を活用した課題の提示や視覚的支援を行った。</p> <p>▽基礎・基本の定着に課題がある生徒がいる。</p>	<p>●次年度もデジタルドリルを活用して主体的に学習するように習慣を身に付けさせる。</p> <p>●電子黒板を更に効果的に活用した授業を展開できるようにする。</p> <p>▼基礎・基本の定着のために、ICT機器を活用しながらスモールステップで授業を展開する。</p>
<p>【理科】</p> <p>○デジタルドリル等を活用して、既習事項の反復練習をする時間を授業時間内外で確保している。</p> <p>○自ら実験・観察を通して得た結果から分かることについて、話し合い活動を取り入れながら考察させている。</p> <p>▽実験・観察を行う前に既習事項や生活体験を基に根拠を基にした予想を立てる機会を確保できていない。</p>	<p>●既習事項の反復練習をする時間を授業内外で今後も継続して確保していく。</p> <p>●実験・観察を中心に、話し合い活動を中心とした考察の場を今後も設けていく。</p> <p>▼学習内容と生活体験を繋げる授業展開の工夫と予想を立てる機会の確保に努めていく。</p>
<p>【社会】</p> <p>○重要用語の小テストを定期的に行い、知識の定着を図ることができている。</p> <p>○ICT機器やデジタル教科書を用いて提示した</p>	<p>●今後も既習事項の定着を目指し、定期的な小テストを継続して行う。</p> <p>●話し合い活動のみならず、様々な学習形態や学習活</p>

<p>資料を基に、分析や読み取り、話し合い活動を取り入れた授業を展開している。</p> <p>▽タブレット端末を生徒個人で活用する機会を多くつくる必要がある。</p>	<p>動を取り入れ、考察する力の向上を目指す。</p> <p>▼単元末に発表活動等を取り入れ、タブレット端末の利用場面をさらに増やせるよう取り組む。</p>
<p>【英語】</p> <p>○生徒の英語の習熟の程度に応じた少人数での学習集団ごとに指導の方法を工夫することができた。スペリングコンテスト、英作文などの活動を通して、単語を正確に書かせたり、英語らしい発音で読ませたりすることができた。また、スピーチ、スキット作りなどの活動を通して、自分の意見や思いを英語で表現す力を身に付けさせることもできた。</p> <p>○英語科の全教員が意欲的に英語科の研修に参加したり、日頃からALTとのコミュニケーション活動にも力を入れたりして、英語力を高め、英語による授業展開を行うことができた。</p> <p>○デジタルドリルを活用し、基礎・基本の定着を図ることができた。タブレット端末を使って音読練習をさせることができた。</p> <p>▽自分の思いや意見などを、正確な英語で「書く」ことが課題である。</p>	<p>●標準クラスでは、英語を繰り返し読んだり、単語を書いたりする練習を行い、基礎・基本の定着を図る。発展クラスでは、引き続き幅広い分野において自分の意見を英語で述べるように表現力の向上に力を入れる。</p> <p>▼今後も生徒の提出物や作品、小テストの結果などから、短いサイクルでつまづきや定着の程度を把握する。また、ICT機器を活用して、図や写真を提示するなど視覚的要素を取り入れたり、世界の様々な状況を知り国際感覚を養ったりするための調べ学習に役立てる。</p>